



温故知新



【指差呼称】

朝、現場に出勤して今日も一日頑張るぞと思っている人はかなりいると思いますが、事故をするかもしれないので注意して働こうと思う人は少ないかもしれません。事故の原因の多くは、ルールを守っていなかった事によるものがほとんどだと思います。

安全作業を確保する為には、「ルールを守る」という強い意志が必要です。

作業を安全に誤りなく進めていく為には、作業行動の要所要所で自分の目で確認すべき対象をしっかりと見て、口で「〇〇ヨシ！」と唱えて耳で自分の声を聞き、腕、指は右手人差し指で対象物を指すといった「指差呼称」が大切だと思います。

なぜ「指差呼称」なのか？人間は間違いを犯す動物で、人はウっかり、ボンヤリといった不注意や錯覚、ベテランに多い省略行為といった心理的な欠陥を持っています。

指差呼称は、作業者の錯覚、誤判断、誤操作を防止する為、作業にかかる前に意識のレベルを変え、事故防止、作業の正確度を高めようとするものです。

指差呼称にはバックデータがきちんとあります。もともと指差呼称は、鉄道で信号などの確認時の基本動作として実行されてきたものです。

昭和30年中頃、鉄道労働科学研究所で実験が行われています。五色のランプを無作為に点灯し、被害者はランプがついたら、同じ色のキーを押しランプを消すというものです。

結果は「何もしない」場合のエラーは3%「指差」、「呼称」それぞれ単独の場合には「何もしない」の約半分に「指差呼称」をした場合はさらに半分となり、エラーは1%以下になるとともに、ランプを押す時間遅れも最小になりました。すなわち「指差呼称」を行えば、作業ミスは減るし、しかも作業効率は上がることが証明されたのです。

国鉄で始まったこの「指差呼称」は、その後、私鉄に、さらに工場に広がり、全国に展開され、今や海外でも紹介されるまでになっています。

現場では安全規則や安全の心得、安全作業手順等、色々なルールが決められています。でも大切なのは、ルールが守られているかどうか、又は、決められたルールを自分自身が実行しているかどうかであると思います。

自分の行動が本当に安全であったかどうか自問自答し反省することが、明日への安全につながるのではないかと思います。

【今号の主な内容】

- P① 指差呼称
- P② ヒューマンエラー
- P③ 労働災害防止・ことわざ
- P④ 連絡帳



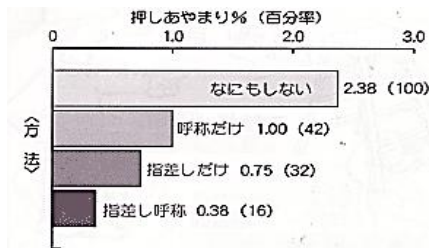
発行

野田工業 株式会社
東京都中央区銀座6-6-19
花菱ビル5F
TEL : 03-3572-1866
FAX : 03-3575-0420

●ヒューマンエラー防止に指差呼称●

「人は考えずに行動する」その結果、見間違いや思い違いによるエラーが起きます。このエラーを減らす方法に「指差呼称」があります。これは、「何もしない」に比べて、エラーを6分の1に減らす効果があります。(図1)

(図1)



「指差呼称」はもともと鉄道の機関士・運転士が考え出したものだそうです。駅の構内で発車のベルが鳴ると前方の安全確認を指差して行う風景を目にします。

では航空界のエラー防止策はどうでしょう。飛行機に乗ると、離陸直前にそのチーフから「乗務員はドアモードをオートマチックポジションに変更してください」というアナウンスがあります。目の前で操作を見ていると、3工程くらいあり、最後に「AUTOMATIC」と書かれたラベルをドアノブに挟み込んでいました。赤いラベルによって、AUTOMATIC中であることが一目瞭然でした。

また離陸前の乗務員さんの動きを観察しますと、荷物の扉が閉まっているか手で触る、テーブルや背もたれを戻しシートベルトの指差し確認、電子機器使用のチェックと慌ただしく過ごしています。優しい笑顔と気配りで乗客は安心して飛行機ができるのですから、つくづく笑顔は魔法だなあと感じます。

このように「指差呼称」はあらゆるところで確認の精度を上げるために取り入れられている方法ですが、人間が起こしてしまうエラーを防ぐには次のような根拠があります。

1. 注意の方向付け

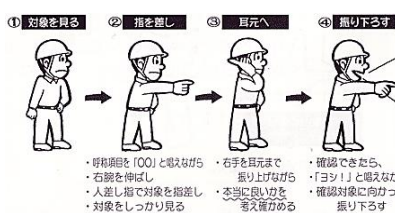
人間の意識水準は常に一定していただけるわけではありません。車の運転では2時間ごとに休憩をとることを推奨しているように集中できる時間は限られています。脳を上手に使い分け、重要な操作・確認の際には意識的に注意を能動的に向ける必要があるために、指差呼称は有用といわれています。

2. 多重確認の効果と脳の覚醒

指差呼称は、腕と指で確認の対象を指し、見たものを口に出して言い、いった言葉を自分の耳で聞く(図2)。このように腕、指、口、目の筋肉を動かすため、脳の覚醒を促し意識レベルが切り替えられ、確認の精度が上がります(表1)

(図2)

(表1)



フェーズ	意識のモード	注意の作用	生理的状態	信頼性
0	無意識失神	ゼ	睡眠・脳発作	0
I	意識ボク	不活発	疲労単調 ねむけ・酒酔い	0.9 以下
II	正常・つらぎ	心の内方 に向かう	安静起居・休息 定常作業時	0.99~0.99999
III	正常・明快	アクティブ 前向き	積極活動時	0.999999以上
IV	過緊張	一点に固執	感情興奮 パニック	0.9 以下

3. 焦燥反応の防止

いつもは確認するのに忘れてしまう原因には、急いでいた、焦っていたというような焦燥反応があります。これにより、確認と判断を行う前に次の操作や動作を行ってしまいエラーにつながります。指差呼称は医療の場でも取り入れられている方法ですが、日常生活においても、外出前の火の元の確認や施錠の確認にも効果があります。習慣づくまで意識的に行ってみましょう。

平成25年度 建設業年度末労働災害防止強調月間

●実施期間

平成26年3月1日～3月31日

●趣旨・目的

年度末は、多くの工事が竣工に向け、あわただしく、また、工事関係者、職種の出入りも多く、作業の油断も生じやすい時期です。この時期の建設現場の安全衛生管理を徹底するため、「建設業年度末労働災害防止強調月間」と定め、労働災害防止運動を展開する。

経営トップ、建設現場の管理監督者等の関係者は、一層の安全衛生水準の向上を目指し、店社と作業所との緊密な連携のもとに一体となり労働災害防止活動を強調するものとする。

ことわざ・格言になろう 安全衛生訓

●頭隠して尻隠さず●

【安全のスキをつくらない】

「頭隠して尻隠さず」とは、キジは、やぶの中に頭をつっこんで隠れたつもりでも、長い尾がやぶの中から出ているよと、その浅知恵を笑うことわざです。同じような意味のことわざに「身を隠して影をあらわす」、

「柿を盗んでタネを隠さず」というものもあります。

さて、「保護帽かぶってアゴヒモしめず」、「保護メガネを持って着用せず」では、「頭隠して尻隠さず」になりそうです。

保護具を使用しろと、やかましくいわれるので、仕方なく使っているのでは、災害の方から見れば、いわばスキだらけです。これではキジの浅知恵を笑ってはいられません。「頭隠して尻隠さず」は、保護具の着用の問題だけに限りません。

4S（整理・整頓・清掃・清潔）や始業前の安全点検にしても、基準を策定して、スキをつくらずにがっちり実施しないと、いつの間にか「頭隠して尻隠さず」になってしまいます。

注意しましょう。



旅行会のお知らせ

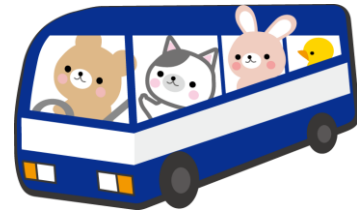
●日時 4月19日(土)～4月20日(日)

●行先 箱根・熱海

●宿泊先 熱海ホテル サンミ倶楽部
(0557-81-8000)

●予定

19日出発	7:00	集合出発	野田 カツミ観光車庫
	9:30		銀座 野田工業(株)前
20日帰着	18:30	帰着予定	銀座 野田工業(株)前
	20:00		野田 カツミ観光車庫



ATピン使用説明会のお知らせ

★日時 平成26年4月21日

★時間 18時30分～

★会場 STANDARD会議室 新橋フォーラム店

★住所 東京都港区新橋1-17-2
第二光和ビル

